

建設計画に係る平成31(2019)年度及び2020年度の実施事業に関する意見に対する対応調書

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
塩江地区	1	新病院附属医療施設整備(1)	合併当初より新病院附属医療施設の整備については、地域住民が最も期待と関心を持っている事業であり、まちづくり戦略計画においては、2020年度に30%の目標進捗率を掲げているが、これまでの状況からも今後の整備について、非常に不安を抱いている。そこで、目標値である30%の事業内容と、全体事業の完了見込みについて、具体的な説明を求めます。	病院局	新病院整備課	目標値の事業内容につきましては、計画策定時におきましては、2020年度中に実施設計を完了する目標を掲げておりましたが、民有地の取得に向けた事業認定が必要であることから、基本設計において、精度を高めた資料の作成が必要となり、想定以上の期間が必要となったことから、現在のところ、2020年度に基本設計の完了及び用地取得を目指しております。 また、全体事業の完了見込みにつきましては、本年度において観光交流課が実施する、地質調査及び測量業務の調査結果により、今後のスケジュールを決定する事としておりますことから、現段階での具体的なスケジュールをお示しすることは困難であります。
塩江地区	2	新病院附属医療施設整備(2)	「高松市立みんなの病院」は本年9月開院のこと、次は塩江分院の早期開院です。そこで、病院敷地に係る事前調査の報告と基本設計(案)及び、スケジュールについて、説明を求めます。	病院局	新病院整備課	附属医療施設の整備候補地につきましては、現在、観光交流課におきまして、地質調査及び測量業務の事業者を選定中でありまして、予定では、7月中に決定する事となっております。 この事業者による調査等の報告が、11月中になされる予定でありますことから、この結果により、基本設計の発注に向けて取り組むこととしており、この基本設計により、今後のスケジュールを決定することとしておりますことから、現段階での具体的なスケジュールをお示しすることは困難であります。
塩江地区	3	温泉をいかした塩江地域の観光振興(1)	塩江地域の特色である豊かな自然環境と温泉を活かした特産品の開発、また、ダム湖を活用した観光の振興については、塩江地域の振興に重要であると考えています。そこで、これから地域住民が活動していく上で参考となる情報の提供や、指導・助言について、力を入れてもらいたい。	創造都市推進局	観光交流課	本市では、平成29年3月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、各種施策の実施・検討を行っているところでございます。御指摘の特産品の開発や内場ダムの湖面利活用につきましては、本市としても、実施主体や手法など、その可能性を検討しているところでございまして、検討を進める中で得られた情報等につきましては、適宜、提供等を行ってまいりたいと存じます。なお、塩江温泉郷は、環境省から、保健休養に重要な役割を果たす温泉地である国民保養温泉地としての指定を受けておりまして、本年7月に国民保養温泉地計画を見直し、指定が更新されたところでございます。今後とも、「塩江温泉郷観光活性化基本構想」及び「国民保養温泉地計画」に基づき、塩江温泉郷の活性化に取り組んでまいりたいと存じます。
塩江地区	4	観光振興へのダムの活用	椋川ダムは、大きな観光資源になる要素があります。椋川ダム周辺整備の活用をどのように観光振興に結び付けるか。その体制と高松市の協力支援をどのようにするか説明を求めます。	創造都市推進局	観光交流課	椋川ダム周辺の整備につきましては、有識者、県、市及び地元関係者で組織する椋川ダム周辺整備検討委員会において、遊歩道や駐車場等の整備について協議を行っているところでございまして、観光交流課の職員も、この委員会の会議に参加し、観光振興の観点から意見を述べさせていただいているところです。また、本年4月から、観光交流課内に、屋島活性化基本構想に搭載した事業を効率的に進めるとともに、塩江温泉郷の活性化を図るなど、屋島・塩江地域の観光振興のエリアマネジメントを一元的に行うため、「観光エリア振興室」を設置したところでございます。ダムの整備後の活用につきましては、当室を中心に、効果的な誘客方法等を検討するとともに、その実施に当たりましては、他の観光資源の活用も含めて、塩江温泉観光協会や塩江温泉旅館飲食協同組合等と連携しながら進めてまいりたいと存じます。
塩江地区	5	温泉をいかした塩江地域の観光振興(2)	今の塩江温泉郷の環境は、奥の湯温泉の閉鎖と行基の湯の改修工事に伴う休館により、温泉地らしい交流人口が極端に減少しているため、周辺の観光関連の事業所に悪い影響を与えています。この状況の早期解消を望みます。道の駅エリア再整備に係る事前調査の報告と基本設計(案)及び、奥の湯エリアの活用調査と基本計画策定(案)について、説明を求めます。また、塩江温泉郷活性化基本構想の塩江温泉郷活性化施策の具体的な実施計画について、説明を求めます。	創造都市推進局	観光交流課	奥の湯温泉につきましては、施設の老朽化から平成28年度をもって閉鎖し、行基の湯についても施設の劣化に伴う大規模改修のため、昨年2月から休館しております。このうち、行基の湯につきましては、現在、改修工事に着手しておりまして、本年中には営業を再開したいと考えております。 また、道の駅おのえエリア再整備に係る事前調査として、現在、候補地の測量及び地盤調査を行っており、今後、この結果も踏まえ、基本設計に着手する予定でございまして、奥の湯エリアの活用につきましては、奥の湯公園内に新たな日帰り温泉施設を整備する方向で検討を進めており、今後、土地の測量等を行ってまいりたいと存じます。 また、現在のところ、塩江温泉郷観光活性化基本構想に掲げる施策の具体的な全体実施計画はございませんが、地域の魅力をPRするWEBサイトの作成は、昨年度に実施したところでございまして、今年度は、サイクリスト・ライダー受入環境整備として、サイクルスタンドの設置やサイクリング情報の発信等を行うこととしております。今後、その他の施策につきましては、実施主体や事業内容・手法等について、地元の皆様へのヒアリングも行いながら、検討してまいりたいと存じます。
塩江地区	6	椋川ダム整備事業	椋川ダム建設事業は、本年3月末に定礎式を終了して、2020年9月の完成に向けて着々と工事も進んでおり、また、それに伴う周辺整備事業についても、県・市ともに取り組んでいることから、地域住民も期待しているところですが、事業の進捗状況によっては作業時間の延長、騒音等の心配もしております。このため、地元住民の意見を踏まえながら、事業推進に一層努力をされますことを願っております。また、市当局においては、担当部署にとらわれず、連携を強化し、地元住民とも一体となって、より良い事業の推進にご協力願いたい。	都市整備局	河港課	椋川ダム整備事業につきましては、2020年度の完成に向けて、事業主体である県とともに、鋭意、事業推進に努めているところでございます。地元からの意見については、直接県にお届けいただいているものもあるかと存じますが、地域審議会を始め、様々な機会にお寄せいただきました御期待の声や御不安等につきましても、県担当部署にお伝えし、地元の御不安が小さくなりますよう、施工時の工夫等を求めてまいりたいと存じます。 また、椋川ダム周辺整備につきましては、現在、地元関係者のほか、県、市、有識者で構成する検討委員会において、整備内容の具体化が進められているところでございまして、市におきましても、検討委員会に関係8課が出席するなど、全庁体制で取り組んでいるところであります。今後とも、地域の方々の観光関連を含めた御意見や、有識者や関係団体等からの御助言、他地域での事例等を踏まえながら、補助金や合併特例債の活用等、財源の確保にも努め、魅力ある椋川ダム周辺整備となりますよう、整備推進に努めてまいりたいと存じます。